

2024 年（令和 6 年）度

第 1 回東京都細胞検査士会役員会議事録

記

日 時：2024 年 6 月 22 日（土曜日） 11:00～12:00

場 所：杏林大学三鷹キャンパス 医学部講義棟 A 5 階 503 講義室

出席者：青木、阿部、五十嵐、飯野、池畠、稻垣、小穴、岡、押本、河村、岸本、郡、
笹井（監事）、佐々木、瀧木、鈴木、関根、宅見、田邊、寺尾、中島、濱川、葉山、
藤田、藤山、町田、三宅、向山、薮下

委任状：浅見、古田

欠席者：石井（監事） (敬称略、五十音順)

議事録：押本

議長選出：宅見氏が推薦され、承認された。

会則に基づき、役員 32 名（出席者 29 名、委任状提出 3 名）により 2024 年（令和 6 年）度第 1 回東京都細胞検査士会役員会は成立。

I. 開会

II. 議事

1. 会長報告

2. 審議事項

- 2023 年度各委員会事業報告
- 2023 年度会計報告・監査報告
- 2024 年度各委員会事業計画案
- 「東京都細胞検査士会における選挙人ならびに東京都選出全国細胞検査士会役員選出選挙人選出要綱」の確認と見直し
- 学術研修会開催方法について
- 学術研修会案内方法について
- 財務管理運用規程について

* * * * *

1-1.会長報告

1)学会予定

- ・第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会
 学会長：進 伸幸先生
 開催日：2024 年 11 月 6 日～7 日
 場所：千葉県
- ・第 66 回日本臨床細胞学会総会春期大会
 学会長：田畠 務先生
 開催日：2025 年 6 月 27 日～29 日
 場所：東京都
- ・第 64 回日本臨床細胞学会秋期大会
 学会長：有廣 光司先生
 開催日：2025 年 11 月 8 日～9 日
 場所：広島県
- ・第 67 回日本臨床細胞学会総会春期大会
 学会長：宮城 悅子先生
 開催日：2026 年 6 月 12 日～14 日（予定）
 場所：神奈川県
- ・第 65 回日本臨床細胞学会秋期大会
 学会長：前田 一郎先生
 開催日：2026 年 11 月 22 日～23 日（予定）
 場所：千葉県

2)細胞検査士セミナー・ワークショップ等の予定

- ・第 84 回細胞検査士教育セミナー

【Web 開催】

配信期間：2024 年 8 月 23 日（金）正午～9 月 9 日（月）正午（予定）

- ・第 88 回細胞検査士ワークショップ

（講義：Web、鏡検実習：北海道

【ハイブリッド開催】

〔鏡検実習〕 札幌医科大学教育研究棟

〔講義と実習〕を申込みの方のみ要参加

2023 年 9 月 21 日（土）（予定）

〔講義〕 WEB 配信 〔講義と実習〕 〔講義のみ〕を申込みの方全員要参加

配信期間： 2024 年 9 月 24 日（火）正午～10 月 7 日（月）正午（予定）

・第 89 回細胞検査士ワークショップ

(講義 : Web, 鏡検実習 : 調整中 2025 年来春を予定)

【ハイブリッド開催】

詳細は未定(準備中)

・第 133 回細胞検査士養成講習会

【現地開催】

日程 : 2024 年 7 月 14 日 (日) ~7 月 26 日 (金) (予定)

会場 : 杏林大学保健学部実習室 (井の頭キャンパス)

3)庶務委員会 (2024 年 4 月 16 日現在)

全会員数 : 13,038 名

(正会員 5,619 名, 準会員 7,165 名, 名誉会員 40 名, 功労会員 201 名, 図書会員 13 件)

細胞診専門医および細胞診専門歯科医数 : 3,196 名 (実数)

細胞検査士数 : 8,111 名 (実数) (認定 11,426 名)

4)細胞検査士委員会

試験の公示は 7 月 10 日 (水)

【一次試験】

2024 年 10 月 26 日 (土) 12:00~16:00 (予定)

会場 : CIVI 研修センター新大阪東、KITENA 新大阪

【二次試験】

2024 年 12 月 7 日 (土) ・8 日 (日) 8:00~21:00 (予定)

※試験の時間は一次試験合格者が確定後に決定

会場 : 杏林大学三鷹キャンパス 医学部講義棟

1-2. 東京都臨床細胞学会

1) 会員数 (2023 年 10 月 31 日現在)

総会員数 1705 名

(名誉会員 25 名, 功労会員 26 名, 医師会員 520 名, 技師会員 1133 名,

賛助会員 1 社)

2) 第 43 回東京都臨床細胞学会学術集会

大会長 : 阿部 仁先生

(がん研有明病院 臨床病理センター・臨床検査センター)

開催日 : 2024 年 8 月 3 日 (土)

開催形式 : Web 開催

1-3.全国細胞検査士会の報告

1)国際委員会報告

IAC 試験について、顕微鏡を用いていた試験は
全て WEB に変更される (IAC より通達)
WEB での試験方式についてはこれから検討される予定
2) 2025 年-2026 年度の役員選挙実施を予定

2.審議事項

1)2023 年度各委員会事業報告

(1)学術委員会事業報告

①第 61 回 東京都細胞検査士会学術研修会 (実施委員長 : 五十嵐 清子)

開催日時 : 2023 年 6 月 17 日 (土曜日) 13:55-18:00

開催形式 : 会場開催 北里大学白金キャンパス 大村記念ホール

WEB 開催 録音録画ファイルのオンデマンド配信

2023 年 7 月 28 日 (金) ~ 8 月 31 日 (木)

参加費 : 500 円 (東京都細胞検査士会会員の方以外は 1,000 円、学生は無料)

研修内容 :

・特別講演「子宮頸部腺病変の病理診断と細胞診－WHO2020 から考える」

熊本大学病院 病理診断科 三上 芳喜先生

・教育講演「呼吸器領域の細胞診-当院の診断からみえるもの-」

神奈川県立がんセンター 医療技術部検査科

病理検査室 酒井 麻衣技師

・症例検討 子宮頸部、子宮体部、呼吸器 3 題

・事前参加登録 367 名 参加単位発行 293 名 (web225 名+会場 68 名)

②第 62 回 東京都細胞検査士会学術研修会 (実施委員長 : 五十嵐 清子)

開催日時 : 2024 年 3 月 2 日 (土曜日) 13:55-18:10

開催形式 : 1)会場開催 杏林大学井の頭キャンパス

2)WEB 開催 録音録画ファイルのオンデマンド配信

2024 年 3 月 9 日 (土曜日) ~ 4 月 13 日 (土曜日)

参加費 : 500 円 (東京都細胞検査士会会員の方以外は 1,000 円、学生は無料)

研修内容 :

・特別講演 「乳癌組織型分類の課題」

日本大学医学部附属板橋病院 増田しのぶ 先生

・教育講演 1 「HPV 感染症の細胞像を再考する」

杏林大学保健学部 郡 秀一 技師

・教育講演 2 「細胞診と超音波検査を用いた

甲状腺微小乳頭癌のラジオ波焼灼療法とその治療効果判定」

昭和大学横浜市北部病院 佐々木 栄司技師

- ・症例検討 乳腺、甲状腺、リンパ節 3題
- ・事前参加登録 350名 参加単位発行 260名(web203名+会場57名)

(2) 広報委員会事業報告

①ホームページ(HP)の管理、掲載

学会・研修会の案内、役員会の議事録等を掲載・更新した。

②子宮の日の活動

COVID-19 感染も減少傾向がみられたが、再度の感染拡大も考慮し

「2023 LOVE 49 キャンペーン」の街頭での資料配布は2023年度も中止となった。

配布資料は2,000部は下記各施設で配布活動を進めた。

配布資料内訳：リーフレット、検査士会ポケットティッシュ、

ハンドクリームサンプル、紅茶飲料

(資料配布協力施設)

- ・医療社団法人こころとからだの元氣プラザ
- ・国家公務員共済組合連合会立川病院
- ・東京医科大学病院
- ・東京医科大学八王子医療センター
- ・東京都保健医療公社東京都がん検診センター
- ・東海大学医学部付属八王子病院
- ・日本赤十字社医療センター

③がん患者大集会への協力

第19回がん患者大集会の参加は今年度も中止となった。

(3)国際委員会事業報告

6月23日(金) IAC 試験事前講習会を東京都細胞検査士会主催開催

(4) 総務委員会事業報告

①会計財産管理運用規程の変更

②学術委員会内規の変更

③東京都細胞検査士会会則の見直し

(5) 庶務委員会事業報告

①2023年度第役員会議事録作成(みなし会議を含む 第1回～第6回)

②2023年度第1回、第2回総会議事録作成

③2023年度第1回～6回役員会開催運営

④2023年度第1回、第2回総会開催運営

⑤第61回、第62回学術研修会 演者・座長依頼状の発送・学会単位申請

* 審議事項 1 2023 年度事業報告は役員会にて承認が得られた。

2)2023 年度会計報告・監査報告（資料・1）

東京都細胞検査士会 2023年(令和5年)度 会計報告														
収入の部		支出の部												
科 目	収 入	会員登録費	旅費交通費	印鑑料未収	消耗品費	消耗什器備品費	臨時賃貸料	会員費	会員料	会員料	会員料	2023年度決算額	2023年度予算額	増 減
第4回 研修会参加費	170,500	321名(現地241名:135,000 現地:60名:35,000)										89,650	150,000	-60,350
第4回 研修会参加費	165,500	312名(現地255名:139,000 現地:57名:30,000)										738,304	605,000	+133,304
東京都細胞検査士会会員費	800,000											0	55,000	+55,000
日本臨床細胞検査学会会員の助成												7,228	354,238	-316,880
研修会会員会員(土産基金会)	6,861,235											0	27,000	+27,000
料子	54											56,370	65,000	-8,630
合計	7,997,289											1,072,202	1,427,258	-355,056
収入合計	7,997,289													
支出合計	1,072,202													
2023年積立金	150,000											150,000	150,000	0
総合計(次年度繰越金)	7,075,087													

* 東京都細胞検査士会会員会員江85万円含

上記の通り相違ないことを承認致します。

2024年 5月 17日

会計監査 仁井保吉印
会計監査 佐野伸哉印

笹井監事より報告

2024 年(令和 6 年)5 月 17 日に会計監査を行い、領収書・帳簿等を監査し適正に運用されていること、また、適正に事業が行われていることを確認した。

* 審議事項 2 2023 年度会計報告・監査報告は役員会にて承認が得られた。

3)2024 年度各委員会事業計画（案）

(1) 学術委員会事業計画

① 第 63 回東京都細胞検査士会学術研修会 実施委員長：藤山 淳三

開催日時：2024 年 6 月 22 日(土曜日) 13:55-18:10

開催形式：現地開催のみ (WEB 配信なし)

会 場：杏林大学三鷹キャンパス 医学部講義棟 A 301 講義室

会 費：東京都細胞検査士会会員 500 円・非会員 1,000 円・学生無料

内 容

特別講演 1：ゲノム診療時代における呼吸器細胞診の役割

—最適な検体処理と LBC の活用に向けて—

田中 良太先生 杏林大学医学部付属病院 呼吸器外科

特別講演 2：甲状腺腫瘍の形態と遺伝子異常

千葉 知宏先生 がん研究会有明病院細胞診断部部長
教育講演 1：婦人科領域の細胞診

梅澤 敬技師 福島県立医科大学

症例検討 : 症例 1 呼吸器
症例 2 泌尿器
症例 3 子宮体部

会場費について

岸本学術副代表幹事より報告

2024 年度より杏林大学利用規約変更のため、計上予算と相違あり

当初は 128,000 円を予定していたが減免申請により 32,000 円となった。

②第 64 回東京都細胞検査士会学術研修会プログラム（案）

実施委員長：藤山 淳三

開催日時：2025 年 3 月 22 日（土曜日）

開催形式：現地開催のみ

会 場：東京医科大学病院臨床講堂

会 費：未定

内 容

特別講演 1：東京都臨床細胞学会 2024 年度学術集会大会長講演

阿部 仁技師 がん研究会有明病院臨床病理センター

特別講演 2：ROSE 関連の講演

島田 直樹技師 聖マリアンナ医科大学病院

症例検討：4 題

（唾液腺）（子宮頸部）（消化器 肝胆膵 ROSE 症例）（呼吸器 ROSE 症例）

会場費について

藤山実施委員長より報告

200,000 円程度を予定している（職員割引で 6 割引後の金額）

③第 65 回東京都細胞検査士会学術研修会プログラム（案）

実施委員長：藪下竜司

開催日時：2025 年 6 月 21 日 or 7 月 5 日（土曜日）

開催形式：現地開催のみ

会場候補：杏林大学 希望

会 費：未定

内 容

講演 1 : HPV 検査と子宮がん検診（仮）

演者 杏林大学医学部産科婦人科学准教授 森定先生

座長 未定

講演 2 : HPV 検査陽性結果を踏まえた LBC 判定について（仮）

演者 杏林大学臨床検査技術学科准教授大河戸先生

座長 未定

症例検討：3 題 座長 未定

症例 1 (子宮頸部 扁平系) 出題者・解答者 未定

症例 2 (子宮頸部 腺系) 出題者・解答者 未定

症例 3 (子宮内膜 or 他の臓器) 出題者・解答者 未定

(2) 広報委員会事業計画

①ホームページの管理、掲載、学会・研修会の案内、役員会の議事録等を掲載・更新

※内容が更新されていない項目もあり、今年度、計画的に更新作業を行う予定

②子宮の日の活動

今年度の子宮の日の活動は、4月6日（土）に上野大丸松坂屋パーキングプレイス、中野駅北口協定広場の2ヶ所で既に行われた。街頭での活動が4年ぶりに再開でき、2000部の資料を配布できた。

配布資料内訳：リーフレット、細胞検査士会ポケットティッシュ、

生理用品よもぎ温座パット

※ 配布活動に参加頂いた、役員の皆様またその施設の方々には、大変感謝致します。

ありがとうございました。

③がん患者大集会への協力

未だ、連絡はないが、依頼があれば積極的に協力したいと考えている。その際は、役員の皆様にご協力を願いしたい。

(3) 国際委員会事業計画

① 学会において国際関係の参加者との交流活動

② その他、細胞検査士に関する国際交流活動

(4) 総務委員会事業計画

東京都細胞検査士会会則ならびに内規の見直しと修正の提案

(5) 庶務委員会事業計画

①2024 年度役員会議事録作成

②2024 年度総会議事録作成

③役員会・総会開催運営

④第 63 回・第 64 回学術研修会 演者・座長委嘱状の発送・学会単位申請

* 審議事項 3 2024 年度の各委員会事業計画案は役員会で承認が得られた。

4) 東京都細胞検査士会における選挙人ならびに東京都選出全国細胞検査士会役員選出選挙人選出要綱」の確認と見直しについて（資料・2、3）

変更前	変更後
<p>第 4 条 一東京都選出全国細胞検査士会役員選出選挙人に関する (東京都細胞検査士会選挙人) 会員から選出される。この会に所属し、(社団公益法人)日本臨床細胞学会の正会員であることを条件とする。 (東京都細胞検査士会被選挙人) 1. 会員から選出される。この会に所属し、(社団公益法人)日本臨床細胞学会の正会員であることを条件とする。</p>	<p>第 4 条 一東京都選出全国細胞検査士会役員選出選挙人に関する (東京都細胞検査士会選挙人) 会員から選出される。この会に所属し、(公益社団法人)日本臨床細胞学会の正会員であることを条件とする。 (東京都細胞検査士会被選挙人) 1. 会員から選出される。この会に所属し、(公益社団法人)日本臨床細胞学会の正会員であることを条件とする。</p>
<p>(附 則) 1. この要綱の改廃は、東京都細胞検査士会定款に定める規定・要綱管理の手続きにより役員会の議を経て総会で承認されなければ変更することができない。 2. この要綱は、平成 22 年 6 月 19 日から施行する。 3. この要綱は、平成 26 年 6 月 21 日から改定する。</p>	<p>(附 則) 1. この要綱の改廃は、東京都細胞検査士会会則に定める規定・要綱管理の手続きにより役員会の議を経て総会で承認されなければ変更することができない。 2. この要綱は、2010 年（平成 22 年）6 月 19 日から制定、施行する。 3. この要綱は、2014 年（平成 26 年）6 月 21 日から改定する。 4. この要綱は、2024 年（令和 6 年）6 月 22 日から改定する。</p>
<p>文頭 <u>平成 22 年 6 月 19 日 制 定</u> <u>平成 26 年 6 月 21 日 改 定</u></p>	<p>削除 削除</p>

三宅総務代表幹事より報告

上記資料の他、追加で以下の誤字の修正と削除を行った。

- ・第 6 条 1.および 2.の文面に記載されている「選挙人」を「被選挙人」へ修正。

- ・第6条2.の文面に記載されている「事」を削除。

*審議事項4 要項の確認と見直しについて役員会の承認が得られた。総会の審議事項とする。

5) 学術研修会開催方法について（継続審議）

※2023年5月8日新型コロナウイルス感染症が「5類」へ移行された後、社会情勢を考慮して判断する。

【2022年度第5回役員会議事録より抜粋】

意見①学術研修会は年2回の開催なので、1回は現地開催、もう1回はWeb開催にしてみるのはどうか。

意見②細胞検査士は女性が多く、働く女性のことを考慮するとオンデマンド開催は残した方が良い。

意見③現地開催、Web開催、ハイブリッド開催それぞれの経費を調査し議論した方が良い。

意見④コロナ前の状態に戻した方が良い。（現地開催のみ）

【2023年度第5回役員会議事録より抜粋】

学術研修会開催方法について検討結果

第63および64回の開催方法は継続審議となった。

→第63回に関しては3月中にメール会議にて下記の意見を踏まえ決定する。

意見とし

- ✧ 現地開催のみ
- ✧ 現地開催+オンデマンド（クレジットあり）
- ✧ 年度2回のうち1回は現地開催+オンデマンド配信
- ✧ 第63回は現地開催のみで様子を見る（参加人数の確認）
- ✧ クレジットは現地開催のみ、無料オンデマンド配信（クレジットなし）
- ✧ 第63回は現地開催+オンデマンド（クレジットあり）、第64回に向け開催方法検討継続
 - ・会計管理の負担がないため、IT担当者の負担が軽減
 - ・ZOOM録画のみだと問題は通信環境だけのため録画失敗のリスクは減り、IT担当者の負担が軽減
 - ・学術委員会内規の変更が必要ではないか？『参加費500円を徴収する』

瀧木会長より報告

近隣各県では、現地開催のみが主流となっている（コロナ前の状態に戻っている）。
会員相互の交流や次世代の人材を発掘するためにもしばらくは現地開催のみに戻し、参加者の状況をみる。

* 審議事項 5 学術研修会開催方法について役員会の承認が得られた。

6) 学術研修会案内方法について（継続審議 2023 年度第 5 回役員会より抜粋）

学術代表幹事 池畠氏より今後の研修会のお知らせについて相談があった。
現行のハガキによるお知らせからメールでの配信に切り替えることができるのか、今後東京都臨床細胞学会事務局にメールアドレスの提供が可能か問い合わせ、その後役員会で審議が必要であると確認された。

意見とし

- ✧ メールアドレスの提供やメール配信に金額がどの程度かかるのか
- ✧ 個人情報の利用に問題がないのか

池畠学術代表幹事より報告

東京都臨床細胞学会事務局でメール配信を 1 件 35 円で対応してもらえる。金額についてはハガキ代 85 円、手紙 110 円と比較すると破格の安さと言える。
ただし、東京都細胞検査士会に会員登録している約 1100 名のうちメールアドレスを登録している会員は約 900 名。約 200 人への情報周知が課題となる。

瀧木会長より報告

まずはホームページを活用し、会員情報の登録を促すことと、今後はハガキでのお知らせは行わないことを周知していく（第 64 回・第 65 回学術研修会まではハガキで周知する）。

* 審議事項 6 学術研修会案内方法についてハガキ送付からメール配信へ変更することで役員会の承認が得られた。

案内方法の変更について周知するためにハガキを出せないか。予算などの問題も含め継続審議となった。

7) 財産管理運用規程について（継続審議）（資料・4）

現行	追加
第 3 条	第 3 条

<p>東京都細胞学会学術集会積立金として年 150,000 円積立をする。 会員が大会長を務める際,またはその他の 理由により必要と判断した場合は,次年度 予算化し役員会の承認を得たのち定時総会 において承認を得る。なお,一事業につき 原則 300,000 円を上限とする</p>	<p>東京都細胞学会学術集会積立金として年 150,000 円積立をする。 ただし積立の上限 を 100 万円とし上限に至った場合は積立を 休止する。 会員が大会長を務める際,または その他の理由により必要と判断した場合 は,次年度予算化し役員会の承認を得たの ち定時総会において承認を得る。なお,一事業 につき原則 300,000 円を上限とする。</p>
<p>第 4 条 研修会等の活動に関する講師謝礼は以下の とおりとする。 謝礼 <特別講演> <u>医師 30,000 円</u> <u>技師 30,000 円</u> < 講演 > <u>技師 20,000 円</u> <症例提供> <u>技師 10,000 円</u></p>	<p>第 4 条 研修会等の活動に関する講師謝礼は以下の とおりとする。 謝礼 <特別講演> <u>医師 30,000 円</u> <u>技師 30,000 円</u> < 講演 > <u>技師 20,000 円</u> <症例提供> <u>技師 10,000 円</u></p> <p style="color: red; text-align: center;">「ただし、事前の役員会で承認を得た場合 には、講師料の上限を 5 万円とする」</p>

* 審議事項 7・8 財産管理運用規定について役員会の承認が得られた。